

肥満も影響

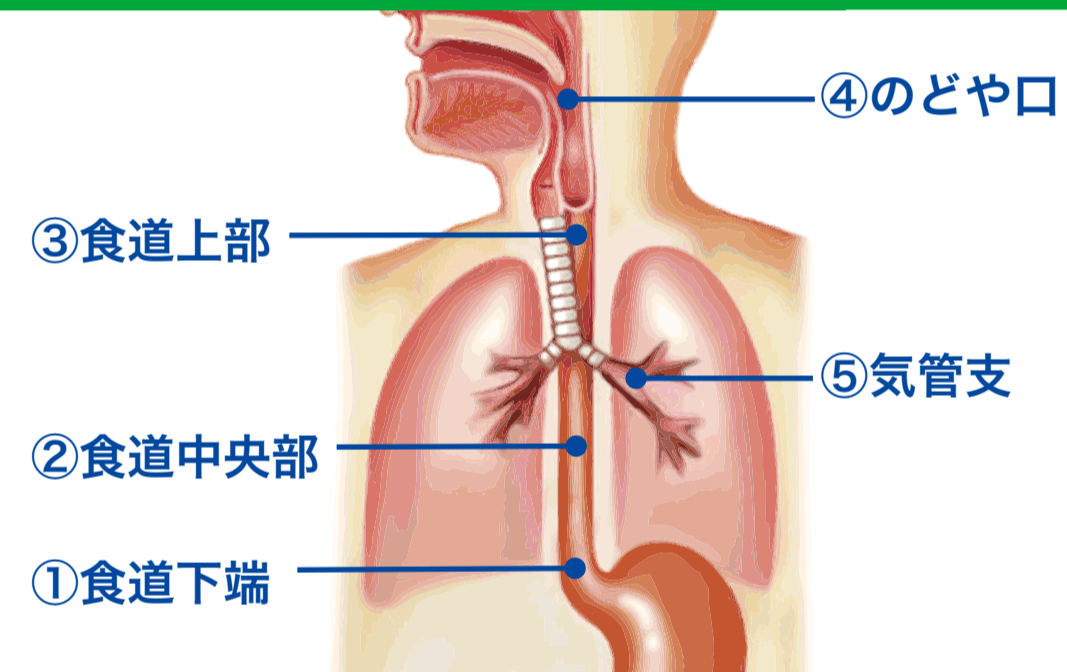
インタープレス
健生 ニュース

胃食道逆流症 (GERD)



胸部に激しい痛みを伴い、心臓病と勘違いされることの多い疾患です。胃液が食道部まで逆流することでさまざまな症状が起こります。近年、患者数の増えているこの病気は、肥満とも関係が深く、働き盛りに急に太った人は要注意です。

胸やけが主な症状 胃酸がどこまで戻るかで症状も変わる



- ①食道下端 胸のつまり、胸やけや痛み、げっぷ、胃痛、食後の胃の重苦しさ
- ②食道中央部 胸やけ、心臓付近のチクチク感、背中の中のムズムズ感
- ③食道上部 胸から首筋まで灼熱感が上がる
- ④のどや口 のどがピリピリする、イガイガする、声がかれる、口が苦い、舌が荒れる、酸っぱい水が上がる、口が臭い
- ⑤気管支 胃酸を吸い込んで、ぜんそく症状が出る

主な原因は3つ 増えているのは肥満による GERD

正常な食道・胃・横隔膜・背骨の関係

① 食道裂孔ヘルニア

② 内臓脂肪が胃を圧迫

③ 骨粗鬆症などで背骨が曲がる

健康豆知識

明らかな炎症がある「逆流性食道炎」、異常の見られない NERD
胃カメラで見て明らかな炎症や潰瘍があるものは「逆流性食道炎」ですが、GERDの半数以上は内視鏡で異常が見られない「非びらん性逆流症 (NERD)」です。胸やけなどの症状はあるのに胃に異常はなく、胸の痛みがあるので、心臓病と間違われることもあります。循環器科で検査をしても異常は見つかりません。心臓病とまぎらわしいのは、食道が心臓の裏側を通っているため、食道の痛みが心臓の痛みのように感じられるためです。最近太り気味で、胸やけがするのに胃カメラで異常が見つからない場合は NERD かもしれません。